

亀岡市新火葬場整備検討審議会（第5回）

日 時：平成29年11月29日（水）

10：00～

場 所：亀岡市役所 2F会議室
（202、203会議室）

次 第

- 1 開 会
- 2 アンケート調査の結果について
- 3 次世代ワークショップの結果について
- 4 新火葬場の整備内容について
- 5 そ の 他
- 6 閉 会

亀岡市新火葬場整備検討に係る
アンケート調査結果

亀岡市新火葬場整備検討審議会

平成29年10月

◆ 亀岡市新火葬場整備検討審議会 アンケート調査結果

- ・回答者 — 亀岡市新火葬場整備検討審議会委員（23名：会長、副会長除く）
- ・回答日 — 平成29年9月26日～平成29年10月31日
- ・回答件数 — 20件／23件（回答率：87%）

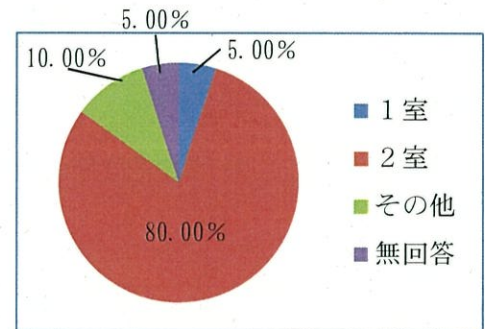
問1 火葬炉設備についてお伺いします。

問1-1 収骨室は何室必要と思いますか。（現火葬場は1室）

ア、1室 イ、2室 ウ、その他（ ）

【回答】

	件数	%	備考
1室	1	5.00	
2室	16	80.00	
その他	2	10.00	3基3室、4～6基4室
無回答	1	5.00	
計	20	100.00	



意見等

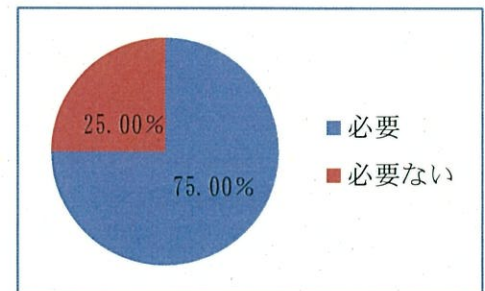
- (ア) 未記入
 (イ、ウ) ・将来人口を見据えて ・運用的に必要

問1-2 告別室は必要と思いますか。（現火葬場はありません）

ア、必要 イ、必要ない

【回答】

	件数	%	備考
必要	15	75.00	
必要ない	5	25.00	
計	20	100.00	



意見等

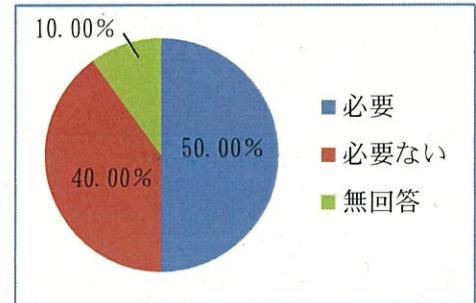
- (ア) ・今回の計画に合わせて設置すべき ・視察先で良かった ・最後の別れの場
 ・2室以上必要 ・告別と収骨が一体化できる
 (イ) ・民間葬儀社があるから ・炉前ホールが良い

問1-3 霊安室は必要と思いますか。(現火葬場はありません)

ア、必要 イ、必要ない

【回答】

	件数	%	備考
必要	10	50.00	
必要ない	8	40.00	
無回答	2	10.00	
計	20	100.00	



意見等

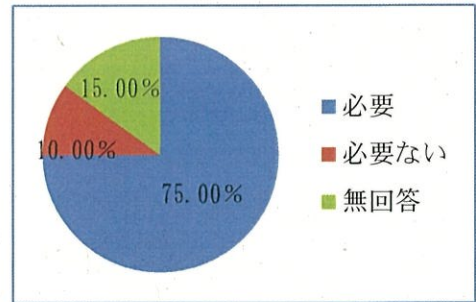
- (ア) ・将来的に必要 ・時代のニーズに対応
- (イ) ・民間葬儀社にあるから

問1-4 動物炉は必要と思いますか。(現火葬場はありません)

ア、必要 イ、必要ない

【回答】

	件数	%	備考
必要	15	75.00	
必要ない	2	10.00	
無回答	3	15.00	
計	20	100.00	



意見等

- (ア) ・犬、猫も家族の一員とする時代 ・市内にないから ・時代のニーズ
- ・利用が見込める ・運営上の資金となる ・市民の望む声がある
- ・時代背景から必要
- (イ) ・公共がもつ必要なし

◆問1 火葬炉設備について

- ・収骨室は2室以上必要が90%、告別室は必要が75%、動物炉は必要が75%といずれも高い値(%)となっている。
 - ・霊安室は必要が50%、必要ないが40%となっている。
- ※収骨室は今後増加が予想される火葬件数に対応すること、また告別室は会葬者グループの錯綜を避け故人との告別を執り行える設備、そして動物炉は市民ニーズに応じて必要である意見が多数であった。

問2 待合スペースについてお伺いします。

(火葬の動線)

◆参考◆

告別

↓ ①「待合ロビー」 ----- 到着～告別～火葬まで等の待合ロビー（短時間）

火葬

↓ ②「待合室」 ----- 火葬～収骨までの待合室（長時間：2時間等）

収骨

問2-1 火葬時における①待合ロビーは必要と思いますか。

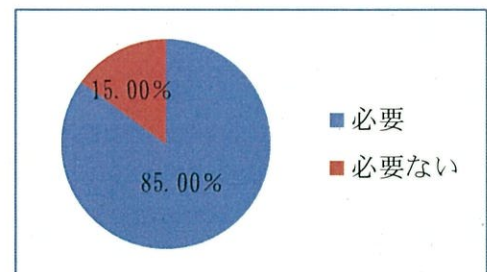
ア、必要 イ、必要ない

⇒ 必要な場合、何人規模の待合ロビーが必要と思いますか。

人規模 × 箇所

【回答】

	件数	%	備考
必要	17	85.00	
必要ない	3	15.00	
計	20	100.00	



意見等

- (ア) ・開放的な待合スペース ・個室的なものは不要
 ・10人×2箇所 ・15～20人×2箇所 ・20人×1か所 ・20人×2箇所
 ・25人×2箇所 ・30人×1か所 ・30人×2箇所 ・40人×2箇所
 ・50人×2箇所
- (イ) ・短時間のため ・火葬終了まで居る人はいない

問2-2 火葬時における②待合室は必要と思いますか。

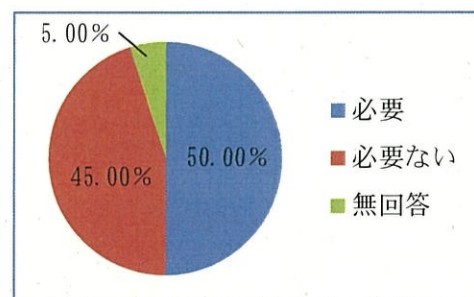
ア、必要 イ、必要ない

⇒ 必要な場合、何人規模の待合室が必要と思いますか。

人規模 × 室

【 回答 】

	件数	%	備考
必要	10	50.00	
必要ない	9	45.00	
無回答	1	5.00	
計	20	100.00	



意見等

- (ア) ・ 15～20人×2室 ・ 20人×2室 ・ 30人×2室
 ・ 広域化の場合必要 20人×1、2室 ・ 小さな待合室 2室 ・ 50人×1室
- (イ) ・ 親族のみで収骨する ・ ロビーで利用可能 ・ ロビーがあれば不要

◆問2 待合スペースについて

- ・ 待合ロビーは必要が85%で必要ないが15%となっている。
- ・ 待合室は必要が50%で必要ないが45%となっている。

※休憩を兼ねた待合ロビーは概ね必要であるが、待合室は約50%が必要となっている。

問3 葬儀式場についてお伺いします。

問3-1 葬儀式場は必要と思いますか。(現火葬場はありません)

ア、必要 イ、必要ない

⇒ 必要な場合、規模等はどれくらいですか。

席規模 × 式場

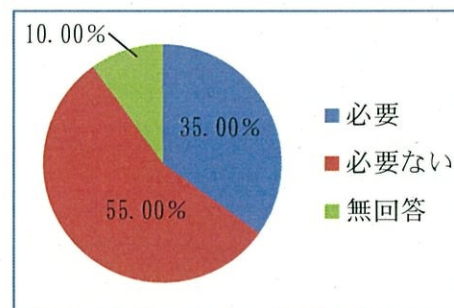
◆参考◆

※葬儀式場が必要な場合、親族控室・僧侶等控室・葬儀社控室・祭壇等倉庫等が別途必要となります。

※目途として、篠山市営斎場は、108席規模が1式場です。

【回答】

	件数	%	備考
必要	7	35.00	
必要ない	11	55.00	
無回答	2	10.00	
計	20	100.00	



意見等

- (ア) ・望む市民が多い ・親族、僧侶控室は不要 ・30席、50席を2式場
 ・250~300席×1式場(篠山市斎場やセレマ等を参考) ・150席×1式場
- (イ) ・民間施設を活用 ・民間業者が役割を果たしている

◆問3 葬儀式場について

・葬儀式場は必要が35%で、必要ないは55%となっている。

※現在の社会情勢やニーズで、民間の葬儀会社の式場利用が多いことを考慮された結果と思われる。

問4 今回の先進地視察についてお伺いします。

問4-1 今回実施した視察先の火葬場について感想等を記入してください。

筑紫の丘斎場	篠山市営斎場
施設のイメージ有 良くないと見受けられた	参考にすべき点多くあった。設置場所、建築景観、施設の配置
建物は良いが、暗い、炉前ホール無駄に広い、動線悪い、動物炉は良	コンパクトにまとまっていた 入口雨対策必要
丸山と仮定して、立地、広域化とも参考になる事例	市民対象としては参考になるが、広域化には参考と ならない
近代的建物で内外観とも工夫されていた	静かな場所で、お別れ場所として良いイメージ
住宅に近く好ましくない	緑に囲まれ申し分ない
環境が良い	レイアウトを参考に
参考になった	参考になった
贅沢で奇抜な印象	シンプルで無駄ないが、式場は不要
近代的で立派な施設、待合室は不要では	火葬動線が分かりやすく機能性があった
火葬場と思えない、ここまでの必要あるのか疑問	中心から遠く利用者は不便、苦情はないと思う、川 の流れは不要・危険
デザイン重視、心が落ち着いた	周辺の景観は癒された、動線が複雑
火葬場としての建築規模と建物デザインにして過大な印象を受けました。更なる相当な予算額（メンテナンス含めて）と思われます。	交通アクセスの向上と一部設備の拡充を検討すれば 当火葬場を基本に一回り大きくすれば亀岡に於ける 火葬場として十分に参考モデルになるのではないかと 思います。

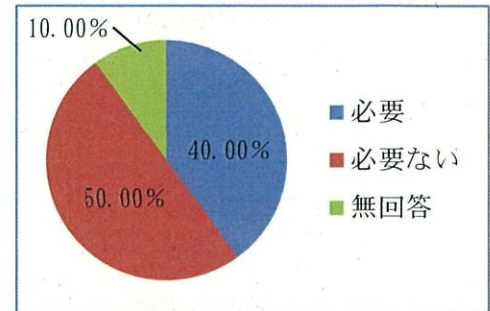
問5 建物等デザインについてお伺いします。

問5-1 特色ある建物デザインが必要とされますか。

ア、必要 イ、必要ない

【回答】

	件数	%	備考
必要	8	40.00	
必要ない	10	50.00	
無回答	2	10.00	
計	20	100.00	



意見等

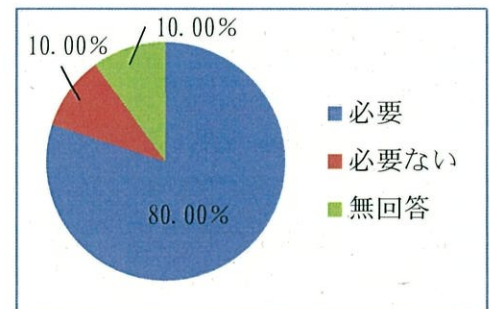
- (ア) ・顔が大切 ・見学者が訪れるようなデザインを ・迷惑施設と思われない建物
 ・筑紫の丘斎場のような大規模なデザインは必要ない
- (イ) ・デザインよりも実用的なものを ・火葬場のイメージを払拭できるデザインを

問5-2 景観に合ったデザインが必要とされますか。

ア、必要 イ、必要ない

【回答】

	件数	%	備考
必要	16	80.00	
必要ない	2	10.00	
無回答	2	10.00	
計	20	100.00	



意見等

- (ア) ・周辺環境に合ったデザイン ・景観にマッチした建物 ・葬祭場の品格と
 周辺の景観と調和したデザイン ・亀岡に溶け込むようなデザイン
 ・市独自デザインを専門的デザイナー選定等で議論を ・亀岡らしさを基本にした
 デザイン、景観樹木として桑、つつじ類等に多く覆われた植栽を施す
- (イ) ・山林内に設置を望む ・環境に合った建物

◆問5 建物等デザインについて

- ・建物デザインは必要が40%、必要ないが50%となっている。
- ・景観に合ったデザインは必要が80%、必要ないが10%となっている。

※整備箇所の景観に合ったデザインは必要であるが、建物等に係るデザインは特に必要ないが多く占めている。内容として、建設コストや実用性を重視した意見が多くあった。

問6 新火葬場整備に係るコンセプトについて

問6 公共施設等の整備について、基本コンセプトを基に進める方法があります。終焉の地に故郷亀岡を思い浮かべるような亀岡市の特色を活かしたコンセプトがありましたら、記入してください。

◆参考◆

- ・霧の亀岡
- ・聖なる川保津川
- ・亀岡の山並み
- ・亀岡の田園風景
- ・亀岡の花暦
- 等

基本コンセプト

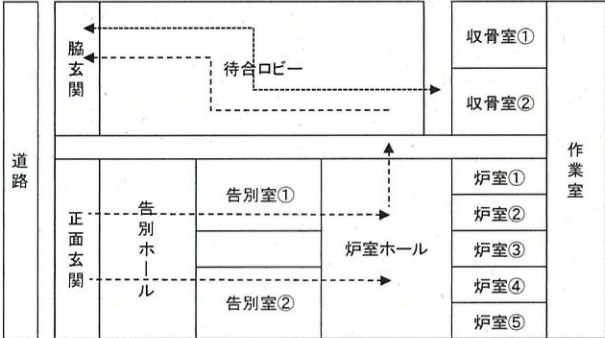
- ・亀岡の山並み、田園風景
- ・保津川、亀岡の四季が感じられれば
- ・心安らぐ華の里
- ・聖なる霧の亀岡
- ・安らぎと尊厳への旅立ち
- ・亀岡の自然、伝統、文化
- ・温かな山並み、静かな建物、シンプル廊下
- ・保津川や自然をイメージ
- ・霧の中に浮かぶ保津川下りのイメージ
- ・亀岡の花暦
- ・亀岡（かつての亀山）亀・山・丘を表徴した庭園
- ・必要ない

◆問6 新火葬場整備に係るコンセプトについて

※亀岡の山並み、田園風景、保津川、霧、自然、伝統・文化など、亀岡の特色を活かすコンセプトを挙げられている。

問7 その他、火葬場整備に関する意見等を自由に記入してください。

1	火葬場建設については、出来るかぎり市街地周辺部に設置することが望ましい。
2	<p>・施設規模的では、「篠山市営斎場」の例にある火葬炉数規模が、本市の将来にも対応可能施設ではないかと思えます。(ただし、式場、控室3室等の施設配置は亀岡市の現状からはいらないと思えます。)</p> <p>・施設建設や運営について、近隣の他市との「組合建設方式」によつての考えもありますが、利用料で他市利用者は約3倍の利用料金を徴収され、それなりの利用数もあることから、本市建設で進めてはどうかと考えます。(完成後に近隣市には施設利用促進のアピールを)</p> <p>・施設規模がほぼ固まった時点で建設場所を検討することとなりますが、市域のどの地区からもほぼ30～40分以内で斎場に行ける場所となると市内でも中央部がふさわしい。現敷地での検討も一考であり、その場合は新たな新入路の建設も併せて検討する必要があります。</p>
3	<p>各自が責任ある立場で臨むべき新火葬場整備検討審議会委員であることから、文書での表現には一定の難しさがあるかもしれないが、逆に冷静に落ち着いて見解を述べられる機会であるとして、むしろ記名式でのアンケート調査とするべきだったのではないかと。それをもとに協議・議論を展開する中で、着地点を見出すべき。</p> <p>個人的な意見としては、かつての1市8町の広域行政を進めるための、いわゆる総合計画を検討する機会があった時に1市8町全体で今日的に言われる、いわゆる迷惑施設(火葬場・埋め立て処分場・ゴミ焼却場)の整備に当たっては、各自治体ごとの自己完結型を目指すのではなく、自治体の統廃合も進んだ今日、自治体間の施設分担方式を真剣に考えるべき時期に来ている点について、共通認識をされたと認識している。</p> <p>従つて、各迷惑施設について広域化を目指す取り組みに向けて、広域化を視野に入れられる自治体間における協議を進めるべき。</p> <p>その点についても、当審議会ですっかりと協議・答申すべき。</p> <p>このことは、亀岡市の火葬場の場所、内容の決定判断を左右することになるものと思慮する。</p> <p>即ち、その見通しがどう立つのかどうか、仮に広域化となった場合でも、広域化の組み立てに関わる。したがって、各自治体の首長さんレベルでの早急な協議・結論が望まれるものとする。</p> <p>もし、広域化の火葬場が困難なら、現在地での火葬場再編整備も大きな選択肢になるものとする。</p>
4	委員会を進めるに当り、建設予定候補地を出来るだけ早い段階で示していく必要がある。一番時間を要する事項である為
5	荘厳にして、感謝の念をいただける建物設備を望みたい。
6	葬儀式場と火葬場が併設され、何かにつけて参列者が落ち着ける会場と成ることを望みます。
7	立地面積に応じて施設の規模・内容は制限されるので、まずは立地場所の決定をすべきである。

8	<p>現火葬場は、亀岡市が発足した昭和30年から設置されており、当時から付近住民は、精神的な苦痛に今日まで耐え忍んできた経過がある。</p> <p>永年悩んできた心の苦しみを当時の市長に直訴し、その苦しみと悲哀を深く理解され、「他町で、人目につかない場所」が適切であるとの判断のもと、計画されてきたものである。</p> <p>付近住民が受けた偏見や火葬場のある環境を嫌った子供たちが、他町への住居を希望し、親元を離れていったこと等を十分に認識してもらいたい。</p>
9	<p>早く場所決め具体化したいです。</p>
10	<p>タイムリミットがあるのかも知れませんが、しっかり時間をかけて議論してはどうかと思います。</p>
11	<p>【私のイメージする施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設は、周囲に家屋のない木々に囲まれた静かな場所。出来れば市域の中心に近い小高い丘陵地が良い。 ・正面玄関は、葬列として入った霊柩車、先頭車(喪主、寺院等)、マイクロバスの3台が続けて横付けでき、雨が当たらない屋根が必要。(他の回送車は手前の駐車場へ) ・正面玄関からの動線は、お棺を先頭に直線的に告別室、炉室まで行く。その後、待合ロビーを通り、玄関脇から退出。 ・正面玄関は、お棺の到着時のみ使用し、他は全て脇玄関から出入りする。 ・脇玄関と隣接する場所に駐車場を設置。脇玄関からの動線は、待合ロビー、収骨室の往復。 ・待合ロビーは、広々としたスペースに応接セットを配置し、広い窓から市内が遠望できる落ち着いた空間が良い。 ・火葬場のイメージを払拭し、親しみやすい周辺環境にするための仕掛けが必要。 <p>例えば、新たな進入道路を造る時、施設手前で分岐させ、その先に市内を展望できる場所を作ることにより一般の人たちも訪れるのではないかと。また、「火葬場」という名称でなく別の呼び方がないものか？ 要するに、閉鎖的で暗いイメージから解放的で明るいイメージにすることも施設を造る事と同様に大切なことだと思う。</p> 
12	<p>①建設費など用地代含めて試算が必要 ②場所も現火葬に隣接する、みどりの郷公園含め面積はどうか。諸費用、建設費建替 ③余部町丸山は、面積、造成費、用地買収建設費等を明確に ④ただ審議会が場所決定まで審議する項目ではないと思う。 市長の専権事項であり、近隣住民との合意を取るのは、執行機関の仕事と思う。</p>
13	<p>親しんで活用できる公園などの広場を設置し、だれもが利用できるようにする必要がある。</p>

14	<p>重い話ではないのですが「終わり」と生前から向き合える場所になればいいなと思っています。例えば、周辺に少しのベンチと選書がきちっとされた本棚があるだけで、“遺族のための、施設になるような気がして。待合いの時間をどう使うのか、という工夫です。1人でぼーっとできる場所などもいいかもしれません。</p> <p>と思いつつ、どこまで必要とされているのかわからないので何とも言えませんが・・・</p> <p>建物の一部に地域の素材が使われているといいな(それをきっかけに親せきのおじさんと亀岡の話ができる・・・みたいな)とも思いました。</p> <p>私個人的には、遺品がギャラリー展示のように置けるスペースがあってもいいなと思います。余分な機能かもしれませんが、余白を意識したいなと思います。</p>
15	<p>いろいろ検討されて来た経過をふまえ今日になったら早く場所を決定することが大義かと考えます。一刻も早く場所を決めて、次は何をするかが大事かと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○現火葬場を増改築の方が経費は安上り ○附属施設は造らない ○犬、猫の火葬部を一基造る。需要大。 ○20年位で耐用年数が経過するのでシンプルな施設で解体工費も安く上げる必要あり ○アクセス道路を整備
16	<p>1 整備の手法・予算等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回視察先の経費予算は概ね20億円程度。財源は、起債+補助員等 ・建設期間:約2会計年度 ・地元との協議を調整 <p>2 審議会の今後の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議論は議題ごとに会長が各委員に確認しながら進めることで議事が確認できる。(事務局は会長からの要請に基づく審議会の報告・説明を基本の立場とすることが適当と思われる。 ・検討のロードマップをその都度修正・確認しながら余裕と準備をもって、検討の道筋・方向性を認識する必要がある。(限られた時間で効率的に検討するためにも事前準備が必要) ・議事録は本来委員会の冒頭で確認・承認することが本来かと思う。 ・議事録か議事要旨かは、各委員の確認が必要かと思う(規則上の扱い?)
17	<p>葬送者が真仏に対し敬畏を念ずる火葬場であって欲しいと考えます。</p>

